申万宏源研究
SWS RESEARCH
申万宏源研究S微信服务号

上海申银万国证券研究所有限公司
（隶属于申万宏源证券有限公司）
SWS Research Co.,LTD.
(subsidiary of Shenwan Hongyuan Securities)

地 址(Add): 上海市南京东路 99 号 3-5 楼
3rd-5th Floor No.99 Nanjin East Rd Shanghai P. R. China
电 话(Tel): +8621-23297818
传 真(Fax): +8621-23297827
邮 编(Zip): 200002
网 址(web): http:// www.swsresearch.com

申万広源 2016「養老産業利益、経済新勢力」陸家嘴シンポジウム
概　　要

一、シンポジウムテーマ及び背景

テーマ：「養老産業利益、経済新勢力」

背景：政府の最新データによると、2015 年末、中国の 60 歳以上の人口は２．２２億人、世界一となりました。国連の最新調査では、2025 年に中国の 60 歳以上の高齢者人口は 36.5%となり、アメリカ、日本、ドイツなどの先進国を超えることとなります。

そのような中で、我々は、中国経済の次なる発展ステップは、第三産業が経済の主要な成長部分となると考えます。人口の高齢化が進む中で、現在、中国の高齢者は、収入が少ない、通院が困難、専門的サービスを受けにくい、介護用具の選択肢が少ない、精神的孤独、社会活動への参加が少ないなどなどの問題に直面しています。今後高齢化が更に深刻になるにつれ、これらの問題は何倍も大きくなると予測され、介護ビジネスは急速に成長するに間違いがありません。政府の様々な政策の打出しや、「医療介護融合」の政策など、社会資本としての介護ビジネスへの注目度が高まり、政策と資本の相互効果で、わが国の養老産業は近年内に爆発的な成長が期待されます。

先進国の経験を参考すると、日本は 1995 年に高齢社会となり、そのスピードも速かったです。日本のこれまでの経験から我々が学ぶことができるのか、中国の福祉分野の専門家は中国国内 A 株上場企業の養老ビジネスに参与することに対してどうみているのか、などの様々な角度から、今回のシンポジウムにおいて国内外の専門家をお招きし、中国の養老産業の未来発展に意見を交わします。

二、日時、場所、形式

日時：2016 年 4 月 28 日　　13:00～18:00

場所：　紫金山大酒店（会場はホテル内　上海市浦东新区东方路 778 号）

主催：　上海申銀万国研究所（http://www.swhysc.com/index.jsp）

参加者（予定）：　全国の主要ファンド、上場企業、投資会社など　約 200 名

三、シンポジウムスケジュール

4 月 28 日（木）

13:00-13:10　ご挨拶（SWS Research Co.,LTD.　首席アナリスト　王立平）

13:10-14:40　基調講演

《日本過去二十年の介護投資環境を例に今日対中参考になる点 》

（デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザリー合同会社

ライフサイエンスヘルスケア　アドバイザー　細見真司　）

14:40-15:40 講演②　《上海の介護サービスの実践及び産業の行方》

（上海市老齢科研センター主任、中国高齢産業協会理事　殷志剛）

15:40-15:55　コーヒブレイク

15:55-16:25 講演③　《日本の新しい介護法及び機器 》

（日中福祉プランニング　王青）

16:25-16:40 講演④　投资策略：《シルバー産業経済の次の 5 年を予測》

（SWS Research Co.,LTD.　アナリスト　何婧雯）

16:45-17:30　パネルディスカッション

参加者：　張凡（上海市民政局社会福利処　副処長）　細見真司　　王青　　殷志剛

◆ **主なスケジュール**

4/27　　晩、歓迎レセプションお食事会

4/28　　午後　　シンポジウム

晩　打ち上げ交流お食事会（政府関係、民間投資会社、ファンドなど）